

営農情報

新年度も増産や乳質改善を目指す

JA酪農部会総会

JA酪農部会は2月20日、第1回通常総会を開きました。乳量1万5745トンの平成26年度生産実績の報告のほか、増産や乳質改善、飼料自給強化などを盛り込んだ事業計画を承認しました。菅原初美部会長は「乳価の値上げや牧草地の利用自粛解除で風向きが変わってきており、ビジネスチャンスと捉えている」と期待を寄せました。



「風向きが変わり、ビジネスチャンスに」とあいさつする菅原部会長

いわて南牛ブランドの銘柄確立に一区

JA肥育牛部会総会

JA肥育牛部会は2月6日、第1回通常総会を開きました。平成27年度は飼料給与体系の普及推進と飼養管理マニュアルに基づき斉一な肉牛生産に励み、和牛生産部会と連携した優良素牛の確保などに努め、肉牛生産販売頭数800頭、販売金額8億円、上物率（A4等級以上の割合）85%、5等級率で50%を目指します。



総会の席上、26年度優秀な成績を収めた部会員を表彰。最高枝肉販売額などで表彰された小山平治さん（藤沢）氏

品質向上に努め、いわて平泉ブランドの確立を

JA果樹部会総会

梨・もも・ぶどうの3つの専門部で構成するJA果樹部会は2月25日、第1回通常総会を開きました。平成26年度優秀な成績を収めた部会員を表彰しました。受賞者は次の通りです。
 (敬称略)◇和なし▽大玉の部=幸水：阿部信夫（花泉）、豊水：高橋睦郎（花泉）、南水：三浦佳輔（大東）▽品質の部=幸水：菅原秀雄（花泉）、豊水：岩淵正司（花泉）、南水：佐藤孝夫（大東）◇加工もも▽出荷総数の部=優秀賞：小山邦彦（大東）、優良賞：及川定儀（大東）、努力賞：太田敬永（千厩）▽一級比率の部=優秀賞：佐藤利実（大東）、優良賞：小山正夫（大東）、努力賞：鈴木勝（大東）



和なし大玉の部で表彰された阿部さん氏

高品質で長期安定出荷の産地へ

JAミニトマト部会総会

JAミニトマト部会は2月26日、第1回通常総会を開きました。平成26年度は出荷数量が73.9トンド前年を上回りましたが、後半の収量確保に課題が残りました。27年度は55人の部会員が販売数量76.5ト、販売額4600万円を目標に掲げ、栽培技術の習得と高温対策に力を入れ、高品質で長期安定出荷ができる産地を目指します。



総会の席上、26年度優秀な成績を収めた部会員を表彰。最優秀賞で表彰された部会長の大住正樹さん（藤沢）氏

全般
 為替は平成25年9月の1ドル70円台から26年12月には120円台、27年2月は117〜118円台で推移しております。農業資材のほとんどは輸入原料から製造されており、為替の影響から今後全般に大幅値上げが予測されます。
 原油価格や為替の影響は、タイムラグがあるため、農業資材への価格反映は来年以降とみられています。

農薬
 さらに農薬規制の変更により、ダイシストン、ディプテックスの販売中止、ジェイエース、オルトランは一部作物の登録削除など登録内容の変更がなされており、農薬使用については注意をお願いします。

肥料
 27年春肥（11月〜5月）価格改定では、高度化成一般（オール15）前年対比0.8%の値上げとなりました。
農薬 価格改定12月（全農）、取扱農薬約1400品目中1300品目を据え置き、2品目値下げ、80品目値上とし、全体としてはほぼ据え置きとなりました。

飼料
 配合飼料価格は27年1月〜3月トントン当たり2550円値上げとなりました。
 配合飼料価格安定基金は、10〜12月は800円補填されています。

